

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りすまいるリハビリセンター西豊田		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の障がいや特性に合わせて療育・リハビリを提供しています。	保育士・看護師・PT・STによる専門的観点を活かしながら、多職種連携を大切に支援に取り組んでいます。	新人教育や知識・技術の向上を目的としたスタッフの研修など、積極的に取り組んでいきます。
2	看護師が常駐しており、医療的ケアが必要なお子様へのサービスを提供しています。	看護師を中心に安心・安全に過ごして頂けるように、医療機関とも連携を図りながら支援に当たっています。	看護師をフォローしていけるような支援体制。看護師の負担を減らせるような人員配置。
3	見慣れたスタッフにみまもられアットホームな雰囲気です。	朝礼やカンファレンスで日々の申し送りをして必要な情報を共有したり、同職種間での連携などを行い、よりよい関わりができるように心がけている。	朝礼に参加できないスタッフへの声かけやカンファレンスノートを見る習慣を改めて意識し実践していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々との交流や活動する機会が十分ではない。	時間や日程の調整が難しい。	お出かけ先での交流を図るために、重心の子や、医療的ケアを必要としている子が安心して過ごせるような環境の確認を事前に行う。
2	父母向けの家族支援プログラム(研修等)等の機会が十分ではない。	時間や日程の調整が難しい。	通信やSNSを通して専門職からの知識などを発信する等、伝えられる機会を作れるようにしていく。
3	規模が小さい事業所でスタッフ配置やスペース等工夫を要する。	建物の広さや段差等、環境的な要因もある。	机や棚の配置の工夫。整理整頓に加え、その日毎で使用する車いすやバギーが使いやすいよう配慮しながら配置する。